

第1回 子どもサミット開催

射水市長 夏野元志

小学生の皆さんが男女共同参画社会について考える「子どもサミット」が開催され、意見交換をさせていただきました。男女共同参画は、これまでの日本の慣習や生活習慣、また、人それぞれの考え方にも根ざしている非常に奥が深く難しい課題です。このような難しい課題にもかかわらず、射水市の将来を担う子どもたちが自分たちの視線で、身近な生活にも目を向け、自分の考えをしっかりと持って取り組んでいただいたことに、驚きを感じるとともに、大変心強く感じたところです。今後も性別にとらわれることなく、助け合い、思いやりの心を育みながら成長されるよう期待いたします。



このような貴重な機会を企画運営いただいた推進員の皆さん、参加された児童、保護者、学校関係者の皆さんに感謝申し上げますとともに、引き続き男女共同参画社会の実現に向けしっかりと取り組んでまいります。

第1回子どもサミットに参加して

第1回子どもサミットが開催され、市長と小学生の男女合わせていろいろな意見が出されました。

“男のくせに”や“女のくせに”と言われ区別され、一人ひとりの個性や能力が存分に発揮できない社会や環境の中、大人自身が無意識のうちに“男らしさ”“女らしさ”という枠内に、子どもたちを当てはめてしまうことが、子どもたちの考えに少なからず影響を与えている気がします。性別に関する思い込みや偏見なく、“自分らしく生きること”自分と向き合い、尊重できたらと、心に強く感じました。

また、子どもたちが学校生活の中で感じている男女共同参画の問題点や、両親を見て思ったことなどを発表してくれました。男女共同参画について、これまでは大人の視点からしか考えたことはありませんでしたが、小学生が日々の中で感じていることを聞くことができ、新鮮な思いでした。この日学んだ“子どもの目線での男女共同参画”を今後の活動にも生かして行きたいと思います。

A・D記

8/27

大島地区 ほくでん出前講座



大島コミュニティーセンターにおいて、ほくでん出前講座を開催しました。

この講座は、大島コミュニティーセンター主催による生涯学習講座と、市男女共同参画推進委員会の共催によるものです。

北陸電力㈱の担当者から省エネや環境問題について講義していただき、日常使用している家電製品を上手に選ぶことが暮らしを快適にするポイントであることを学びました。

また、市男女共同参画推進委員会の活動内容について説明をしました。参加者は、配布資料を見ながら、分かり易い説明に聞き入っていました。 M・S記

9/28

下地区 コーヒー教室

日頃からよく飲まれているコーヒー!!ワンランクアップのおいしいコーヒーを飲んで幸せな気分になってみませんか?ということで教室を開催しました。

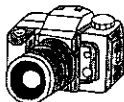
コーヒー生産地域の様子、抗菌作用・カフェインは脂肪の燃焼を助け身体にもやさしいのです。味覚の差、おいしいコーヒーを入れるポイント(お湯の沸かし方・フィルター・粉の入れ方・お湯の注ぎ方)では、驚くことがたくさんありました。ポイントを知る度に各テーブルでは、会話が弾みました。

深い香りに包まれ、おいしいコーヒーを飲みながら、資料で富山県男女共同参画計画について、身近な例を話しながらの伝達は、多少の理解が得られたのではないかと感じられました。 S・S記

第3回

イクメン・イクジイ・イクバア・カジダン・カジジイ

写真展作品より



★優秀賞

パパ様々♥



★優秀賞 じいじ大好き



★最優秀賞

いっしょにはみがきしよう!

9/21日

新湊地区 すしの握り方教室

新湊の自慢の海の幸、新鮮なお魚を使っの「すしの握り方教室」を「寿司竹」の店主をお迎えして開催しました。

参加者は、新鮮なネタを目の前にやる気満々ながら、握り酢の加減やすし飯をほどよい大きさに握ることに四苦八苦している人も。それでも、だんだん慣れて上手く握れるようになりました。

細巻にも挑戦し仕上げの盛り付け方にも職人ならではのコツを教わり、恰好のいい「上にぎり？」の完成となりました。

和やかな雰囲気の中、自分で作った握りずしを試食し、後片付けも皆で協力してスピーディに終わることができました。これからもいろいろな啓発活動をとおして、男女共同参画の輪が広がっていくことを願っています。 S・N記



10/26日

小杉地区 巡回講座



地域への啓発活動として、今年は三ヶコミュニティセンターで、寸劇「介護は誰がするの」を上演しました。この寸劇は、夫婦の関係、親子の関係、地域とのかかわり方などいろいろの問題提起ができるため、何度も上演しています。20年も前のシナリオなのに、今も身近な問題として上演することが出来ました。聴衆の皆さんは、高齢者が多かったので、はっきりと大きな声で、演じるように気をつけました。そのためか、わかりやすく楽しかったとの声が聴けました。 T・T記

9/28日

大門地区 公民館まつりに参加して

「心地よい人間関係を作るコミュニケーション」のテーマで寸劇を行いました。

それぞれ異なる3つの内容を見てもらった後、会場の方に「自分だったらどうするか」を自己判断してもらいました。寸劇の内容の中に日頃自分が相手に言っている言葉が出てきたのか、会場からたくさんの笑い声が聞こえてきました。

日常なにげなく使っている言葉が「心地よい人間関係を作っているのか」と考える機会となったのではないかと思います。皆さんの明るい笑顔が印象的でした。 K・Y記



ボランティアフェスティバル

9/20日

今年度も、各地域の推進員の「この人がこんなことを演じるのか」と思える役者ぶりに多くの拍手やブーイングをもらいました。自分自身が家族への感謝の気持ちを持つようになり、変わったなと思いました。

もう少し射水の女性パワー、男性パワーがアップするよう、皆さん個々の心の中に残るよう頑張っていきます。 K・T記



啓発活動



5月 凧まつり



6月 男女共同参画週間



11月 DV防止週間



12月 出前講座

◎研修会報告

❖講演会 (5月13日)

演題 「心地よい人間関係をつくるコミュニケーション」～日常の会話から～

講師 梶座 久子氏 (フェミニストカウンセラー ウィメンズカウンセリング富山所属)

総会后、コミュニケーションについて研修を受けました。自分の気持ちを率直に表現できる関係が男女共同参画社会を実現するには大切であり、DV関係にあるとそれが不可能になります。自分の気持ちを表現するのに攻撃的な表現をしては、相手に不快感を与えます。心地よい人間関係をつくりつつも、自分の気持ちを伝える表現方法を考え、発表をグループごとにロールプレイングで行いました。

深刻なDV関係に陥る前にパートナーと適切なコミュニケーションを取ることの大切さを学びました。相手の考え方、価値観への歩み寄りの気持ちを持ちつつ、自分の気持ちを伝えることが大切であり、一息おいて攻撃的な表現を避け、心地よい人間関係、家族関係を築いていきたいと思いました。

K・K記

❖富山県男女共同参画推進委員地域別研修会 (11月9日)

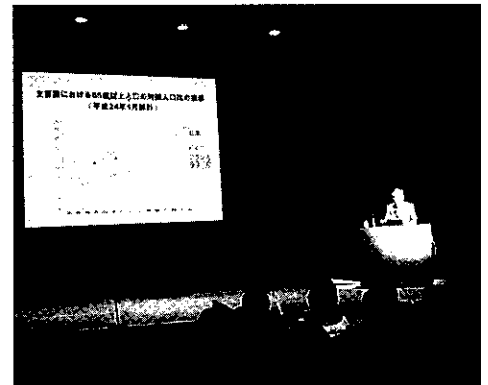
演題 「認知症にならないために」

講師 赤江 豊氏 (内科・脳神経外科 赤江クリニック院長)

高岡市・氷見市・射水市の推進員他60余名が参加した。平成27(2015)年にベビーブーム世代が前期高齢者に、その10年後平成37(2025)年に後期高齢者に達し、高齢者人口がピークになります。赤江豊先生の上手な話に熱心に聞き入りました。先生からは、認知症の種類・症状・なりやすい人・その危険因子・認知症の治療と勉強させてもらいました。私達が、これから更に元気に生活していくために、最後に教えて頂いた、「認知症予防の10か条」を紹介します。

1. 塩分と動物性脂肪を控えたバランスの良い食事を。
2. 適度に運動を行い足腰を丈夫に。
3. 深酒とタバコはやめて規則正しい生活を。
4. 生活習慣病(高血圧、肥満など)の予防・早期発見・治療を。
5. 転倒に気をつけよう(頭の打撲は認知症を招く)
6. 興味と好奇心を持つように。
7. 考えをまとめて表現する習慣を。
8. こまやかな気配りをした良い付き合いを。
9. いつも若々しくおしゃれ心を忘れずに。
10. くよくよしないで明るい気分で生活を。

K・S記



❖DV相談研修会 (2月4日)

演題 「DVの実態とその対応」

講師 梶座 久子氏・戸瀬 希久代氏 (フェミニストカウンセラー ウィメンズカウンセリング富山所属)

人権擁護委員、市役所職員そして男女共同参画推進委員を対象に、DV相談研修会を行いました。研修会では、DVに陥ってしまう背景・種類や、二次加害とならないような被害者の接し方など様々なことを学び、DV問題に関わっていくことの難しさを改めて感じました。

「DVは個人の問題ではなく社会の問題」という講師の言葉を思い出し、当事者意識をもってこれからの生活や活動につなげていきたいと思います。

M・O記

編集後記

御嶽山の噴火・大雨・大雪など自然災害の恐ろしさを、改めて思い知らされた1年でありました。

今年は、市長と子どもサミットの開催、討論で自分のやれる事はやる、私たち推進員も、やれることから始めて行きたいと考えています。

H・K記